

「第3回農業用ハウスの設置コスト低減に向けた技術提案会」 提案資料

提案者名: イノチオアグリ 開発部 林大策 問い合わせ先:0531-36-2011

(それぞれどちらかに○)

- 販売している技術 ・ 実証中の技術
 温室トータル技術 ・ 個別要素技術

提案事項: 【新型】低コストパッケージハウス「ドリームフィールド」(果菜類Ver.)

① 低コスト

やめる・減らす・まとめる

 間口 8 m x 柱高 3.7 m x スパン 4.5 m
本体の標準パッケージ化 脱過剰設計、付帯構造との一体化
最適設計による部材数の削減 作業足場の改善による施工の簡略化 自社品パッケージによる経費削減

② 高機能

明るい・涼しい・便利

 採光性能 59 % 換気力 2 倍(開口指数0.13→0.26) 複合環境制御盤
「エアロビート」を標準装備(自社品) 固形培地式栽培システム「ココフィールド」
による、高収量・安定生産(自社品)

③ 耐候性

強い・長持ち・適応力

 風速 40 m/s~50 m/s
積雪 20 cm、作物荷重 10 kg 柱の板厚強化で 耐風速 50 m も適応 高強度アルミ樋が本体強度を増強 強化スチール天窓 と 強化ダブルラック
により天窓構造の耐風速 35 mに相当

期待される効果

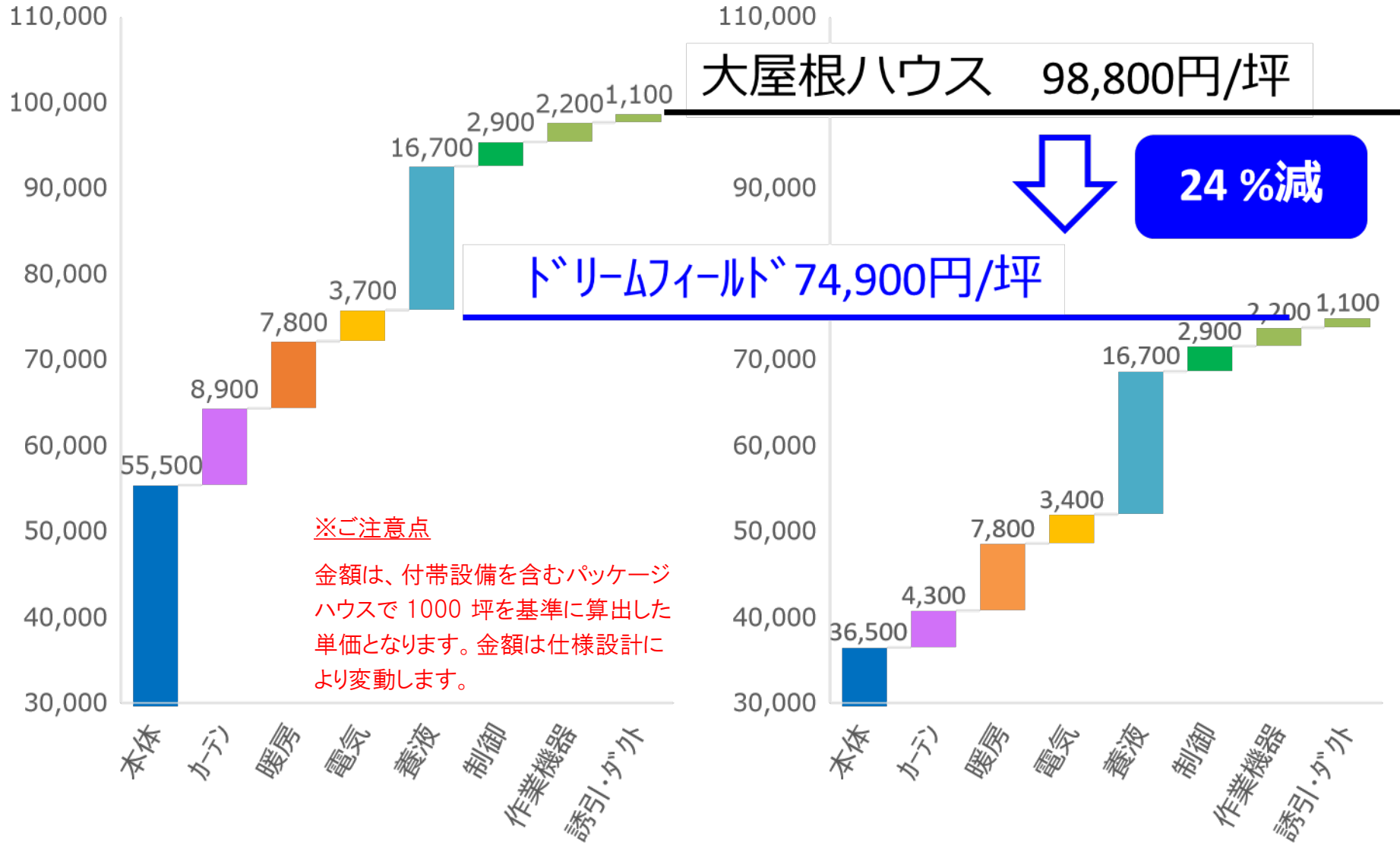
- ① パッケージ化により材料・設計・施工コストを改善 ⇨ 高機能型ハウス 7.5 万/坪～ 6.5 万/坪(設計内容により変動)
 ② 採光性 59 %、換気力 2 倍(開口指数0.13→0.26)、栽培システム ⇨ 大玉トマト収量 30 t以上を安定生産
 ③ 標準設計で風速 40 m/s、強化タイプ 50 m/s、雪 20 cm、作物 10 kg ⇨ 広い地域と作物に適応可能

10a当たりの導入コスト 現状 2,964 万円 → 目標 2,247 万円 (24 %減)

※金額は、付帯設備を含むパッケージハウスにおいて、面積 1000 坪を基準に算出し10aあたりに換算したものです。

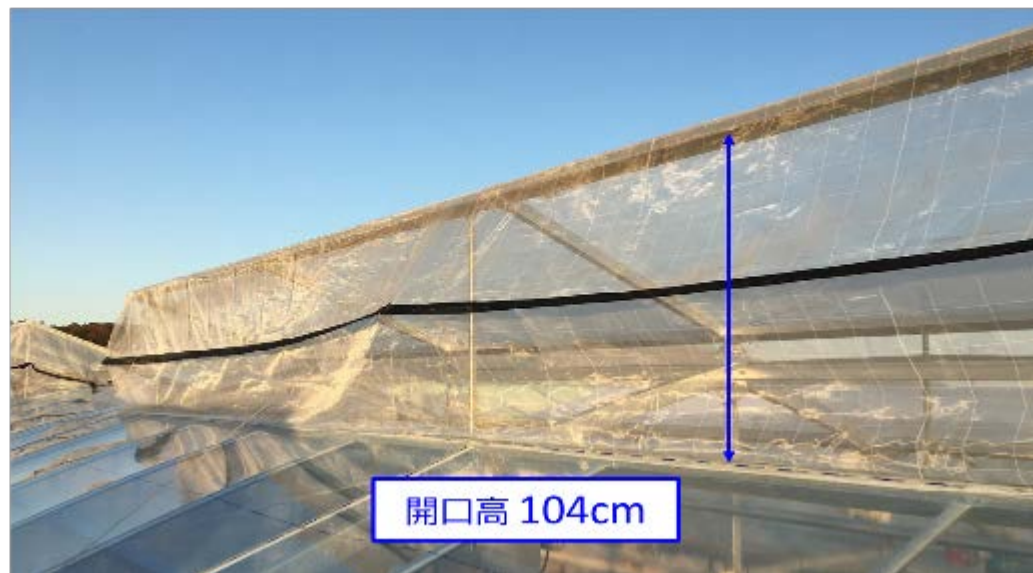
ハウス本体コスト ▼ 1.9 万円 /坪

トータルコスト ▼ 2.4 万円 /坪 の低コスト化を達成





開口高104cmの天窓がつくる。2倍の換気力



新型ハウス「ドリームフィールド」
2019年 3月1日より営業開始

省部材、広幅スパンがつくる。高い採光性



	平均日射強度 (W/m ²)	積算日射量 (J/cm ²)	日照時間 (分)	採光性 (%)
屋外	400	1011	421	-
DF	235	592	371	59

従来ハウスとの採光性比較 屋根型 42% vs ドリームフィールド 59%